

新時代の飼料メーカーが拓く 「耕畜一体・循環型」実装アプローチ



日清丸紅飼料株式会社

2025年10月15日

日清丸紅飼料(株)

基本情報



- 事業概要 配合飼料の製造・販売
- 17拠点（本社/営業所/研究所/工場）
- 本社所在地 東京都中央区日本橋

畜産事業

- 畜産飼料販売数量：2,479千トン(シェア10.34%)
- 肉牛向け全国販売シェアは15% ※2024年度当社販売量データより
- 給餌指導、農場巡回を中心とした技術営業が強み
- 飼料販売を通じた小売店・末端農家へのアクセス
- グループ内に養豚系子会社(含む種豚農場/ PIQUA)

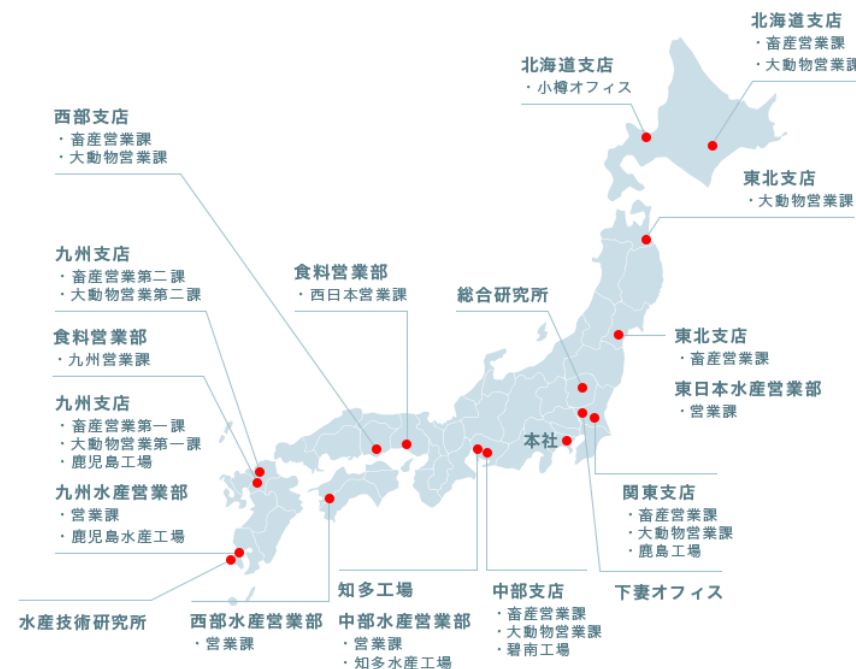
水産事業

- 水産飼料販売数量：132千トン(シェア27.6%)
※(一社) 2024年度日本養魚飼料協会 統計より
- ウナギ・ブリを中心に業界トップシェア
- 国内製造拠点2か所、営業拠点4か所
- 全社収益の約4-6割を稼ぐコア事業
- 製版一体化で形状・物性面での技術改良力に強み
- 中国/天津に独資の水産飼料工場保有

食料事業

- 2025年4月より旧丸紅エッグが食料本部として統合
- 国内鶏卵の卸売り、及び鶏卵(加工品)の輸出入事業
- 鶏糞のベトナム輸出事業 (年間輸出数量40千トン)
- 牛・豚・鶏など畜産農家の畜糞を原料とした堆肥を日清丸紅飼料ブランドとして企画販売推進中

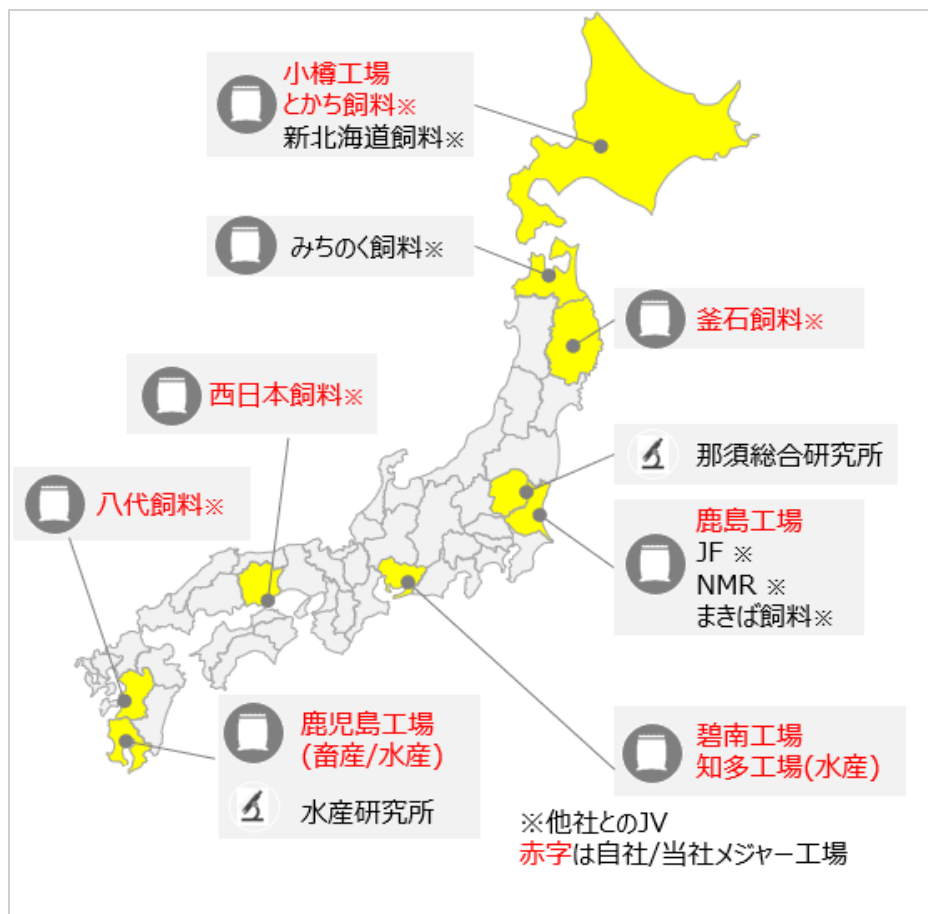
国内17拠点



本日の発表者

- ・ 畜産本部九州支店畜産営業第二課 (鹿児島) 箕崎しより
- ・ 食料本部食料営業部事業開発課 (東京) 近藤英美

日本国内 配合飼料製造工場拠点

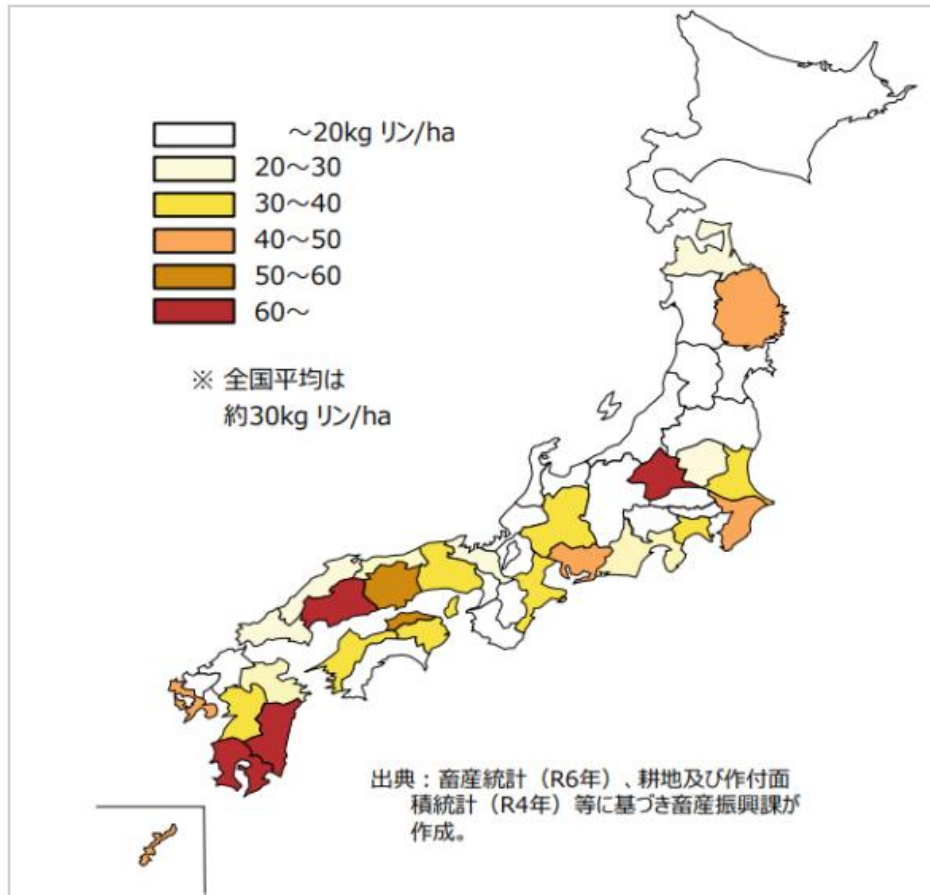


主要データ

設立 VIEW  1957年 8月1日	売上高 2024年3月期 2128億円	売上高/従業員数 2128億円/522名 4億 766万円
畜産用飼料生産数量  262 万t ※農林水産省データより	畜産用飼料シェア  10.9 % ※農林水産省データより	
水産用飼料生産数量  12.9 万t ※一社）日本養魚飼料協会による統計より	水産用飼料シェア  27.6 % ※一社）日本養魚飼料協会による統計より	うなぎ用飼料シェア VIEW   35.3 % ※一社）日本養魚飼料協会による製造数量より
製品数 VIEW   約 2000 種類	一人の営業担当が取り扱うひと月の売上 VIEW   約 4 億円/月	

耕地面積当たりの家畜排せつ物発生量(R6)

- ・中小畜産農家の廃業・撤退に伴う、大手生産者の規模拡大により、局地的に大量の畜糞が発生する構造に変化
- ・当社飼料販売の主要顧客の経営維持や規模拡大には **適切な畜糞処理の体制が必須な状況となっている**



畜種別畜糞の発生量（R6）

年間8000万トンの畜糞の処理支援は、**飼料会社としての果たすべき社会的責任であり**、持続可能な畜産業の実現に向けた重要な取り組みの一つと考えている

畜種	家畜排せつ物量 (万トン／年)	
	発生量	割合 (%)
乳用牛	2,186	27.2
肉用牛	2,480	30.9
豚	2,060	25.6
採卵鶏	727	9.04
ブロイラー	583	7.25
その他	1	0
合計	8,037	100

堆肥コンサルサービスの提供

当社は畜糞処理のエキスパートであるサンクラフト、及び都夢創と3社協業を行い、畜産飼料顧客の堆肥問題を解決する堆肥コンサルサービスを提供中

堆肥コンサルサービス協業体制

全畜種生産者
(肥育・酪農・養豚・養鶏)



【堆肥コンサルサービス内容】

1. 堆肥処理誘導
2. 堆肥流通・販売支援

株式会社サンクラフト
堆肥総合コンサルティング
宮崎県都城市



株式会社都夢創
堆肥総合コンサルティング
福岡県福岡市



堆肥処理指導内容

- 堆肥処理計画の設計
- 設備指導
- 堆肥発酵
- 技術指導



堆肥流通・販売支援

バラ堆肥及び袋堆肥の流通支援

- 牧草地へのバラ堆肥の搬出支援、その後収穫した牧草の飼料活用
- 丸紅グループの国内販路を活用した販売、及び海外輸出の取り組み
- 自社ブランド堆肥を利用した農産物の提案営業（量販店向け等）



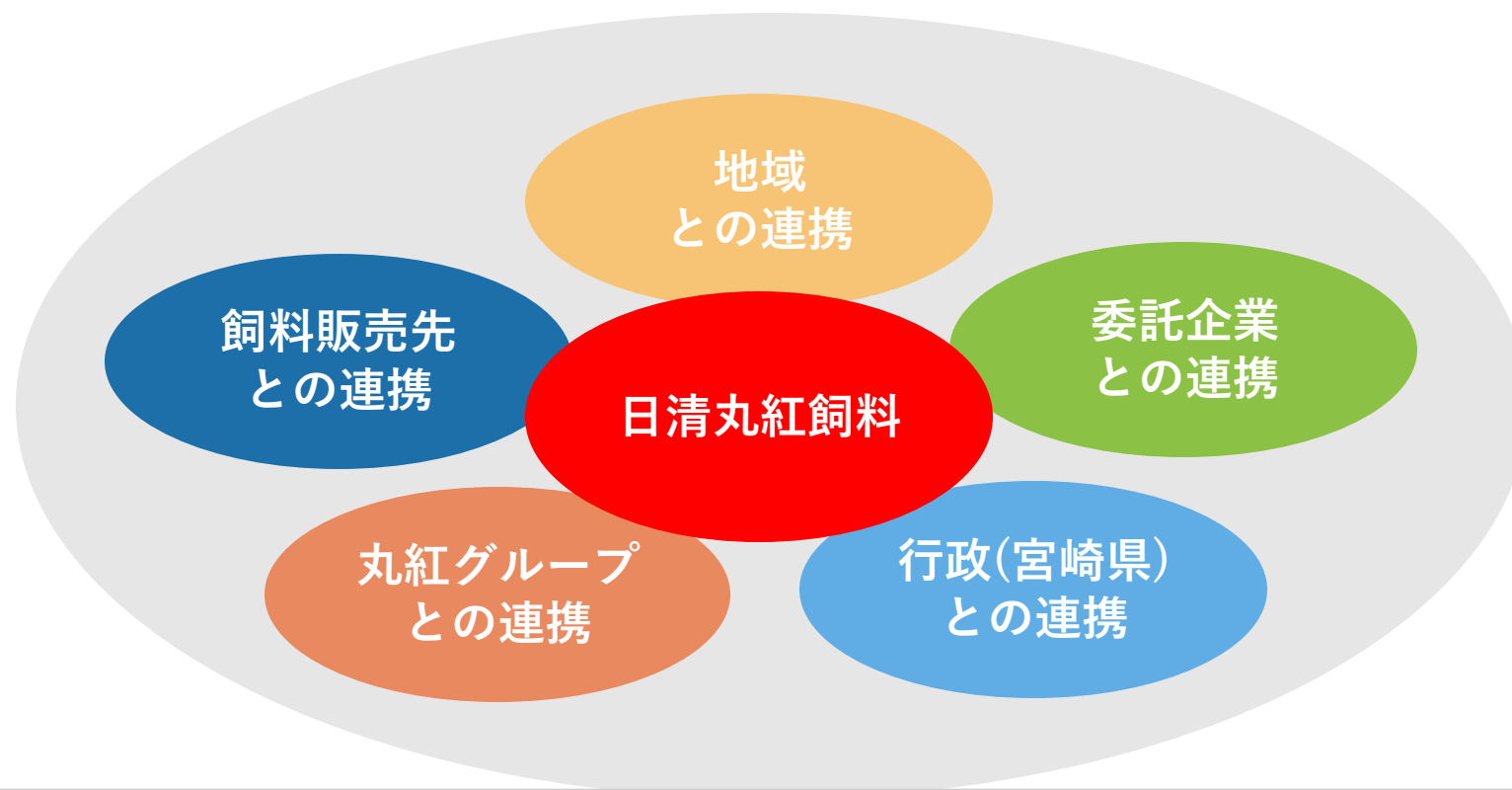
01. バラ堆肥の流通支援について

02. 袋堆肥の販売支援、及びブランド堆肥を使用した農産物の販売支援

バラ堆肥の流通支援（南九州で実装）

- 飼料販売先(畜産生産者)のサポートを目的として、堆肥の取り組みを開始
- 南九州という畜産集中エリアにおける堆肥流通には、各方面との連携が必須

堆肥流通の為の5つの連携



鶏糞堆肥＋茶葉の栽培

飼料販売先
との連携

地域
との連携

丸紅グループ
との連携

- ・ 当社飼料販売先の醗酵鶏糞を近隣の茶畑へバラ堆肥で流通
- ・ 生産者保有のダンプ車（10トン車、4トン車）での輸送
- ・ 茶畑の使用には、完熟された鶏糞が求められる為、協業するサンクラフトより技術指導
- ・ 丸紅グループ会社への茶葉販売・斡旋可能

流通イメージ図

日清丸紅飼料(九州)
配合飼料生産・販売

霧島エッグ(鹿児島)
飼養・鶏卵生産

製茶園(丸紅グループ)
の茶畑(鹿児島)への
鶏糞散布

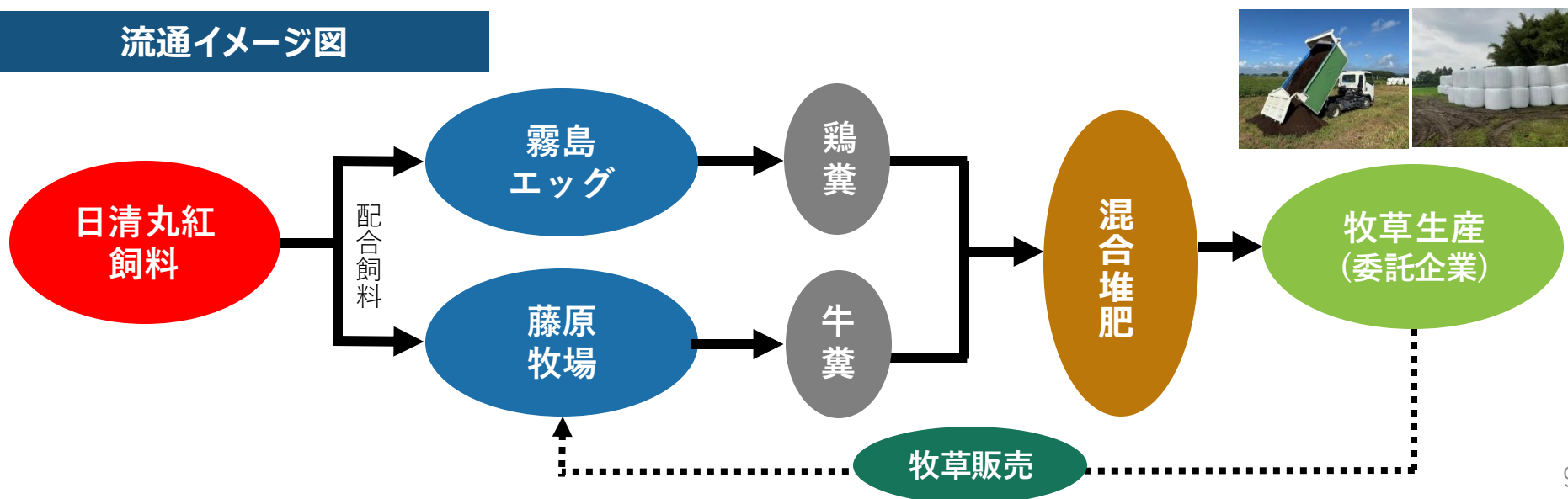
混合堆肥 + 牧草生産

飼料販売先
との連携

委託企業
との連携

- ・ 養牛農家と委託企業の間で堆肥⇔牧草の取引を行い、双方へのメリットを創出
- ・ 飼料販売先で堆肥の連携を行うことにより（鶏糞 3・牛糞 7 の割合で混合）
鶏糞と牛糞堆肥のそれぞれの短所をカバー（肥料効果 + 土壌改良）
- ・ 化成肥料の代替としての鶏糞利用 + 肥料散布作業の短縮化

流通イメージ図



混合堆肥+麦栽培

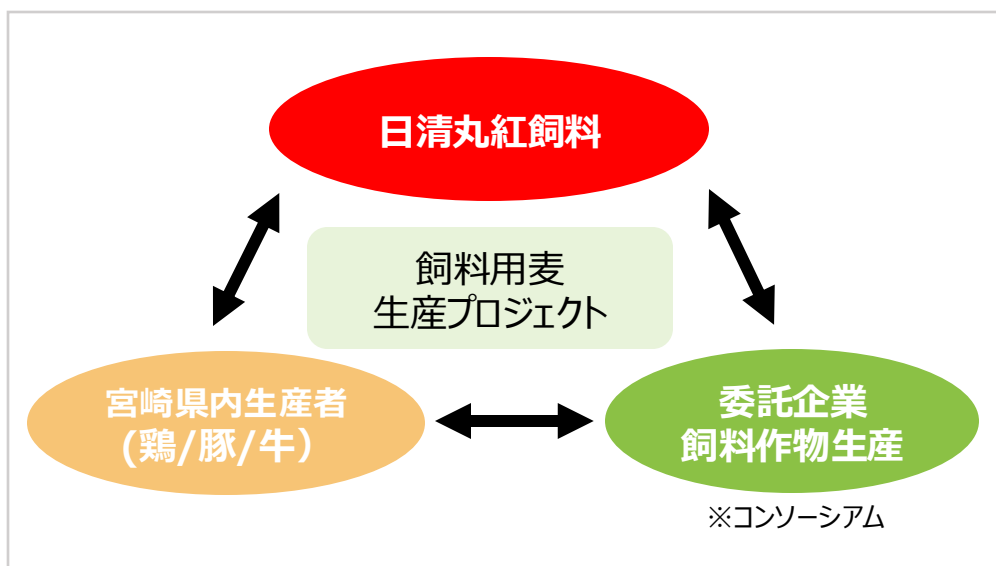
飼料販売先
との連携

委託企業
との連携

行政(宮崎県)
との連携

- 宮崎県内での資源循環の実現（飼料用麦生産プロジェクト）
- 宮崎県の掲げる粗飼料自給率100%目標への伴走
- 新規需要米の代替原料として飼料用麦の活用の検討

協業イメージ図



麦の部位ごとの使用目的

実：家畜飼料用
(圧ぺん大麦など)
県内の畜産農家への供給

ワラ：敷料・麦わらサイレー
ジへの活用

堆肥：宮崎県内の畜産
農家の堆肥を供給



遊休地、甘藷裏作などで
土地の有効活用

バラ堆肥の課題

- 散布時期(春肥・秋肥時期)が限定される
- 天候に左右される
- 価格が安い
- 用途が農地還元に限られる

バラ堆肥の進化（袋製品）

- 広域流通が可能
- 需要期が分散される
- 長期保管が可能
- パレット配送可能で配送の簡便化
- 付加価値を付けられる
- 家庭菜園向けなどに用途が広がる

日清丸紅飼料 堆肥ブランド「べに華」

バラ堆肥のデメリットを解決し、堆肥の利用・流通方法を進化させるために、日清丸紅飼料の袋堆肥ブランドを2024年10月にリリース



01. バラ堆肥の流通支援について



02. 袋堆肥の販売支援、及びブランド堆肥を使用した農産物の販売支援



検査項目	混合堆肥	牛糞堆肥	鶏糞堆肥
水分	27.9	38.9	21.3
窒素全量	4.5	2.3	3.07
燐酸全量	3.8	3.7	4.16
加里全量	4.1	5.2	2.98
炭素率(C/N比)	8.4	17.9	7.68

(添加物)

- ・乳酸菌酵母：土壌バランス調整、種子の発芽・根張りの促進
- ・海藻エキス：ミネラルやカルシウムの補給による収量増加、霜への耐性
- ・カニ殻パウダー：線虫や細菌性の病害虫予防

大手野菜生産者の試験圃場への施肥



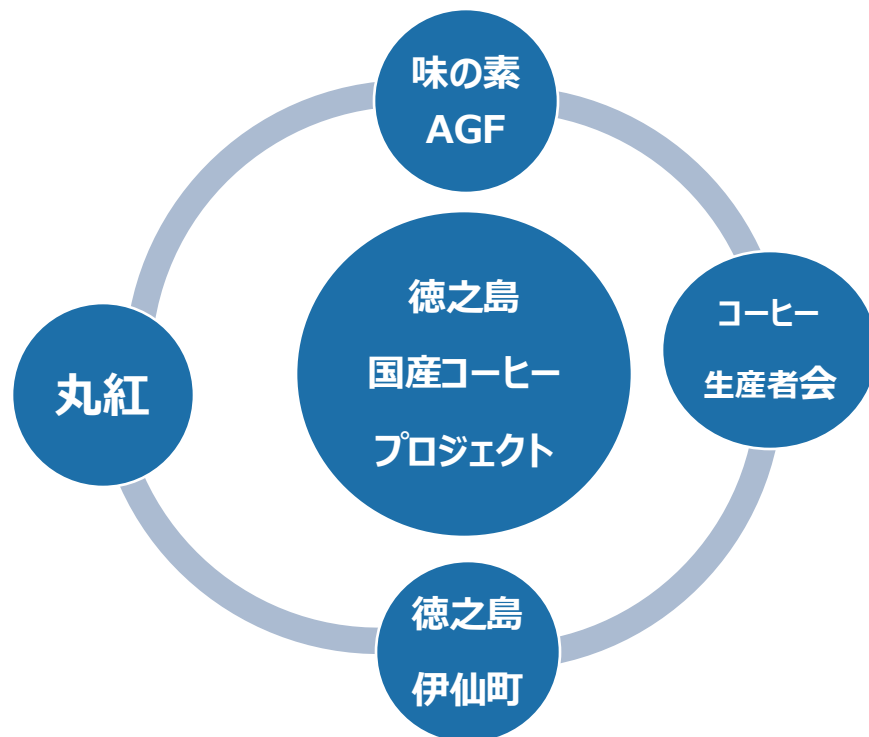
農業展示会への出展

- 2025年9月13-14日に大阪(梅田)で開催された「にっぽん」青果祭に出展
- 日本全国の農業生産者と一般消費者が一堂に会する貴重な機会であり、当社は「熊本産バナナ」や「宮崎産焼き芋」など、べに華堆肥を使用して生産された作物を「資源循環型」の取り組みとして紹介
- 約7万人の来場者・多くの生産農家と関係構築



徳之島での国産コーヒープロジェクト

- ・ 徳之島で国産コーヒーを支援するプロジェクトに丸紅(株)が参画
- ・ 伊仙町役場、徳之島コーヒー生産者会、味の素AGF(株)、丸紅の4社にて推進
- ・ 2024年より日清丸紅飼料も土壌改良部門の課題に対するサポートを開始
- ・ 当社堆肥「べに華」を24年10月より供給開始、土壌改良・収量向上への取組み



べに華vegetable企画での循環型農業

- べに華堆肥を利用した農産物に「べに華vegetable」のラベルを添付し消費者に提供
- 循環型農産物のストーリーを通じて、+αの付加価値を訴求
- 通常の商品に「循環型野菜」 + 「同県産堆肥利用の地産地消」というストーリーを付け、丸紅グループの販売チャンネルを利用して、鶏卵販売先（量販店・外食）へ提案

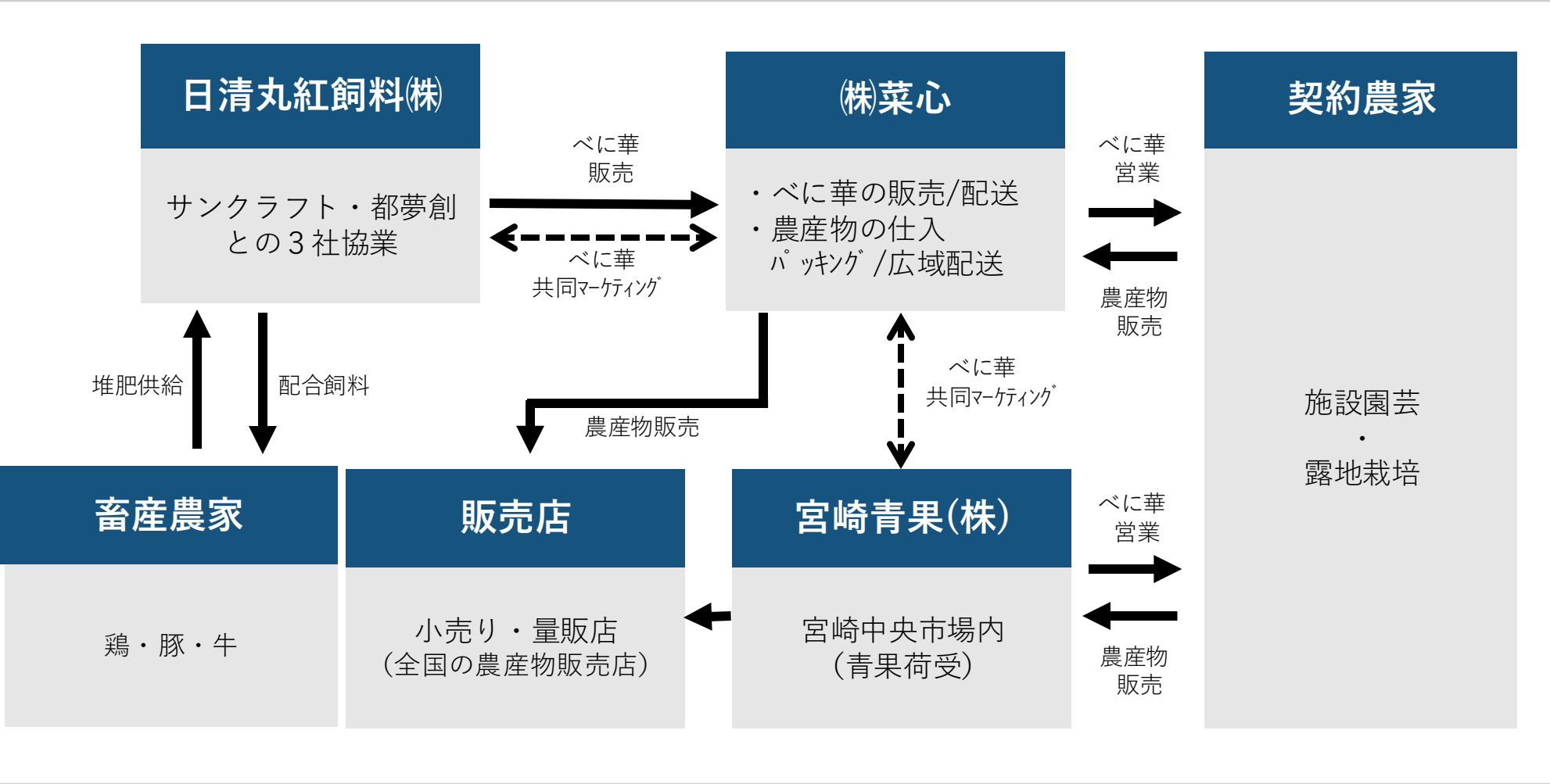
青果卸企業との取り組み

- 青果卸市場で、べに華堆肥を販売し、野菜農家向けに供給
- べに華を購入した農家の野菜を量販店・外食チェーンに対して、循環型の取り組みを説明し販売
- べに華堆肥の使用拡大と本取り組みへの加盟農家の拡大を推進中

べに華 ロゴデザイン



株式会社菜心との取組フロー図



ベトナムへの堆肥輸出

現状、当社は鶏糞堆肥をベトナムへ年間約4万トン輸出
その販路・営業ノウハウを活用し、25年4月にベトナムへ「べに華混合堆肥」 1,200袋を初回出荷
ベトナム国内でプロモーション活動及び、25年10月よりさつまいも圃場で試験施肥を実施中



ご清聴ありがとうございました。

食の絆を未来へ

当社は食文化の一翼を担う企業として、安全・安心で高品質な飼料及び関連商品の生産・販売を行い「食品の安全性の確保」に寄与します。



日清丸紅飼料株式会社